

子ども達の笑顔で賑わう新しいスキー場（IOX-AROSA）のかたち ～笑顔ひろがる、みんなの室内あそび場プロジェクト～

医王アローザ株式会社

プロジェクト概要

現在、IOX-AROSAスキー場センターハウス内でプレオープン中の「室内遊び場」を、場内の「体験交流センター」に新設し、12月のスノーシーズンから正式オープンを目指し整備を進めています。

スノーシーズンの晴れた日は屋外で雪遊びを。雪や雨の日には室内遊びを。グリーンシーズンには、のびのびと芝生広場で遊び、酷暑や雨の日には室内遊びを。

このプロジェクトでは、季節や天候に左右されず、体験交流センターの広さを活かし、より多くの子ども達が同時に安心して遊ぶことができるよう遊具の充実を図ります。

プロジェクト詳細

12月のスノーシーズンから「体験交流センター」に新設し正式オープンする「室内遊び場」は、現在の室内遊び場の約2倍となる216㎡の広さとなり、小学校の教室約4～5室分に相当します。この広さを活かし、より多くの子ども達が同時に安心して遊べるよう、遊具の充実を図るためのプロジェクトです。

今回導入する遊具は、身体を活発に動かす「動的遊具」（身体活動系）・マルチファンクショントンネル・エアークャッスル・エアートラックと、創造力や思考力を育む「静的遊具」（創造・思考系遊具）・マグフォーマービークルセット・マグフォーマーNEWディスクバリヤーBOXです。

これらをバランスよく配置し、子ども達が自身の興味や発育段階に応じて多様な遊び方を選択できる構成といたします。

また、同年齢・異年齢の子ども達が共に遊べる遊具を導入することで、自然な協力や教え合いが促進され、交流が広がることも期待されます。こうした子ども間の関わりは、保護者同士の新たな交流の契機ともなり、世代を超えたつながりを育む場としての機能も担います。地域や保育園の枠を超えた子育て世代のネットワーク形成にも寄与するものと考えております。

室内遊び場では、グリーンシーズンの酷暑や雨の日には室内遊び場を活用することで、快適かつ安全に遊ぶことができます。また、スノーシーズンにおいては、雪や雨の日には室内遊び場を活用することで、天候に応じた遊び方を提供することができ、初めて雪に触れる子ども達や、屋外活動に不安を感じる保護者の方にも安心してご利用いただける施設を目指しています。

実施団体からのメッセージ

スキー場における子ども向けアクティビティは、雪遊びやスキー、スノーボードなど屋外が中心であり、全国的にも室内プールの併設施設はあるものの、遊具を備えた室内遊び場を有するスキー場は極めて稀です。

IOX-AROSAスキー場では、こうした現状を踏まえ、子ども達の多様な遊び方に対応する「オールシーズン・全天候型」の新しいスキー場スタイルを提案いたします。

私たちは、子育て世代を応援し、子ども達の笑顔があふれる、地域に根ざしたスキー場づくりを目指して行こうと考えています。皆さまのご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



プレオープン中の室内遊び場様子



新設予定場所の「体験交流センター」